

農事組合法人ひがしとよ営農組合（奈良県山辺郡山添村）

組織の概要

- 「地域の農地は地域で守る」をスローガンにR2年に設立。
- 農家戸数 55戸、村内で唯一の集落営農組織。
- 標高300mの中山間地域において小麦生産に取り組む。
- 農地の集約化、団地化に取り組み、作業の効率化を実現。



生産概要

- 【作付面積】水稻：6.6ha、飼料用米1.1ha、小麦：3.2ha（R4）
- 所得増加と経営の安定化を図るため、小麦の作付割合を拡大している。
小麦作付面積
1.1ha（R3）→ 3.2ha（R4）→ 4.9ha（R5）
- 小麦と飼料用米との二毛作にも取り組んでいる。
R6年産より、大豆を取り入れたブロックローテーションに取り組む。



取組のポイント

<需要に応じた生産を徹底>

- 実需者との意見交換を実施し、その要望を踏まえ、令和5年秋の播種において、「ふくはるか」からパン・中華麺用の強力系品種「はるみずき」への全面切り替えを行う予定。

<団地化や作業の効率化を図ることで、作付拡大するとともに適期作業を徹底>

- 地域の話し合いにより団地化を進めることで、ほ場の地下水位を低下させ、排水性を改善。同時に作業性も向上した。
- 団地化による作業の効率化とともに、溝掘り機の導入により、さらに排水性を改善し、生育を安定させ増収を図った。



取組成果

<小麦の作付面積拡大と団地化、単収の増加を実現>

- 小麦の作付面積が、当初の4倍以上に増加。
作付面積：1.1ha（R3）→ 3.2ha（R4）→ 4.9ha（R5）
（R7目標：5.0ha）
- 小麦ほ場では、概ね0.5ha区画で団地化を実施。
団地化面積：101a（R4）→ 280a（R5）
（R7目標：300a）
- 適期の栽培管理等の基本技術の励行により、過去3カ年とも県平均を上回る単収を実現。
ひがしとよ営農組合単収
335kg/10a（R2）→ 375kg（R3）→ 308kg（R4）
県平均単収
231kg/10a（R2）→ 298kg（R3）→ 276kg（R4）

